

作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	Chrome Paper Developer（濃縮現像液）2L 用（内容量:約500ml）
会社名	株式会社アローズ・トレーディング
住所	〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-8 藤井ビル 801
担当部門	SDS 担当
電話番号	03-5390-3520
FAX 番号	03-5390-3520
緊急連絡先	03-5390-3520
用途	アナログ写真用現像剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
	呼吸器感作性／皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 1B
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分 2
	特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分 2
	環境に対する有害性 水生環境急性有害性	区分 1

※危険/有害性の大きさ(区分)は、数字が小さいほど危険性/有害性が高い

GHS ラベル要素

絵表示



作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

注意喚起語	危険
危険有害性情報	皮膚刺激 強い眼刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 遺伝性疾患のおそれ 発がんのおそれの疑い 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 臓器(腎臓、中枢神経系)の障害のおそれ 長期または反復暴露による臓器(呼吸器、血液系)の障害 のおそれ 水生生物に非常に強い毒性
注意書き	
安全対策	ガス、ミスト、蒸気を吸入しないこと。 換気の良い場所でのみ取り扱うこと。 この製品を使用する時は、皮膚や目、衣服に触れないようにして、保護眼鏡や保護手袋、保護マスクなどを着用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。
応急措置	
吸入した場合：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：	水で 15 分以上注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。 眼の異常や刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：	多量の水と石鹸で洗い落とすこと。 皮膚の異常や皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断・手当てを受けること。 汚染された衣服は脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

ばく露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡して指示を仰いでください。

漏出した場合：適切な吸収剤(ウエスやタオル)や回収方法により回収すること。

「4. 応急措置」の項を参照。

保管

一定の場所を定めて保管すること。

直射日光を避けた涼しい場所に保管すること

子供の手の届かないところに保管すること。

「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を参照。

廃棄

内容物および容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。

段ボールは、都道府県および地域の規則に従って廃棄すること。

(13.廃棄上の注意の項を参照)

使用上の注意

適切な保護具を着用して取り扱うこと。

作業後には手、顔をよく洗うこと。

国/地域情報

「15. 適用法令」の項参照

作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

[原則安衛法表示・通知対象物は安衛法の規定%以上を表示、それ以外は 1%以上を表示]

成分	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法	含有量(%)
水	7732-18-5			非該当	60-80
亜硫酸カリウム	10117-38-1	1-0453	1-0453	非該当	10-20
ジエチレングリコール	111-46-6	2-0415	2-0415	非該当	1-10
炭酸カリウム	584-08-7	1-0153	1-0153	非該当	1-9
ハイドロキノン【PRTR1】 【安衛通知】	123-31-9	3-0543	3-0543	第一種 336	4.9
エリソルビン酸ナトリウム	6381-77-7	9-0132	9-0132	非該当	5 未満
水酸化カリウム【安衛通知】	1310-58-3	1-369	1-369	非該当	5 未満

PRTR 法(化学物質管理促進法)該当物質は、特定第一種、第一種、第二種指定化学物質の分類と、政令番号を表示しています。成分名に【安衛表示】の表記は労働安全衛生法の表示対象物、【安衛通知】の表記は労働安全衛生法の通知対象物、【安衛有機則】の表記は労働安全衛生法の有機溶剤中毒予防規則対象物を示します。

4. 応急措置

吸入した場合	速やかに被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にとめること。症状が続くようであれば医師の手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗い落とす。汚染された衣服は脱ぎ、再使用する際は充分洗濯すること。刺激や症状が続いたり強まったりした場合は医師の手当てを受けること。
眼に入った場合	直ちに清浄な流水で 15 分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズをしていて、容易に取り外せる場合は取り外す。症状や刺激が続いたり強まったりした場合は医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中をよくすすぎ、医師の手当てを受けること。
応急措置を行う者の保護	救助を行うものは、必要に応じて適切な保護具を着用することが望ましい。

作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

5. 火災時の措置

消火剤	初期消火には、散水、水噴霧、炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等を使うこと。
使ってはならない消火剤	なし
特有の消火方法	周辺火災の場合は、可能ならば容器を安全なところに移し、漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないように配慮すること。関係者以外は、速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火活動では適切な保護具(呼吸用保護具等)を着用してください。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具および緊急時措置	作業の際にはその場に合った、適切な保護具を着用すること。 (「8.暴露防止措置および保護措置」の項 参照)
環境に対する注意事項	漏出物が河川等に排出されないように注意する。 必要に応じて換気を確保する。
封じ込めおよび浄化の方法・機材	
大量の漏出	リスクを伴わない場合、可能なら漏出を止める。 可能な場合は漏出物をせき止め、プラスチックシートなどで覆い拡散を防止する。 パーミキュライト、砂、土などの不燃性物質に吸収させて、適切な容器に回収しその後適切な方法で廃棄すること。 回収後はその場を水で注意深く洗い流す。
少量の漏出	吸収剤(例:布、吸収シート)で拭き取り、その後念入りに清掃して汚染を取り除く。

作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	
技術的対策	皮膚、粘膜や着衣、眼への接触を避けること。取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
局所排気・全体排気	作業場は換気を充分行う。
注意事項	次項参照。
安全取扱い注意事項	適切な保護具を着用して取り扱い、作業後には手、顔をよく洗ってください。
保管	
適切な保管条件	直射日光を避け涼しい場所に密栓して保管しておくこと。
混触禁止物質	強酸
安全な容器包装材料	十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。

8. 暴露防止および保護措置

含有成分の管理濃度および許容濃度				
成分名	CAS No.	厚生労働省告示	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
亜硫酸カリウム	10117-38-1	設定値なし	設定値なし	設定値なし
炭酸カリウム	584-08-7	設定値なし	設定値なし	設定値なし
ジエチレングリコール	111-46-6	設定値なし	設定値なし	設定値なし
ヒドロキノン	123-31-9	設定値なし	設定値なし	2mg/m3(TWA)
エリソルビン酸ナトリウム	6381-77-7	設定値なし	設定値なし	設定値なし
水酸化カリウム	1310-8-3	設定値なし	設定値なし	設定値なし
設備対策		作業場は換気を充分に行うこと。また作業場の近くには、手洗い、洗眼等の設備を設ける。		
保護具				
呼吸器の保護具		必要に応じて適切な呼吸器保護具(マスク等)を着用する		
手の保護具		適切な保護手袋(ゴム手袋等)を着用する		
眼の保護具		保護メガネを着用し、必要に応じて顔面保護具を着用する		
皮膚および身体の保護具		必要に応じて適切な保護衣(ゴム製エプロン等)を着用する		
適切な衛生対策		眼に入らないようにする。皮膚に触れないようにする。 作業後は水や石鹸などを使い充分に手を洗うこと。		

作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

9. 物理的および化学的性質

外観

形状	液体
色	微黄色
臭気	ほぼ無臭
pH	9.9
融点・凝固点	～0℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	～100℃
引火点	引火性はない
自然発火温度(発火点)	可燃性はない
燃焼又は爆発範囲 下限	該当せず
上限	該当せず
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	1.26
溶解性(対水)	易溶
オクタノール／水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	水とほぼ同等

10. 安定性および反応性

安定性	通常の使用条件では安定。
反応性	強酸と混合すると有害な亜硫酸ガスが発生する懸念がある
避けるべき条件	凍結及び直射日光を避ける
混触危険物質	強酸
危険有害な分解生成物	硫黄酸化物(亜硫酸ガス等)、窒素酸化物、一酸化炭素、炭酸ガス

作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

11. 有害性情報

急性経口毒性(LD50)	>5000mg/kg(計算値)
皮膚刺激性	皮膚を刺激するおそれがある
眼刺激性	眼を刺激するおそれがある

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境急性有害性	水生生物に非常に強い毒性
水生環境慢性有害性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	
オゾン層破壊物質	モントリオール議定書の付属書に列記された成分の含有 はありません
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

原液および使用液を廃棄する場合、自社で排水処理装置を所有していない場合は、下水道や河川にそのまま廃棄せず、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添付して処理を委託すること。また、この際容器も産業廃棄物として処理すること。梱包用の段ボールは、都道府県および地域の規則に従って廃棄すること。

【廃棄時に該当する法規】

廃棄物処理法:産業廃棄物

水質汚濁防止法:生活環境項目

下水道法:下水の排除の制限

作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

14. 輸送上の注意

輸送法規の適用なし。

国連分類 非該当

海上輸送を行う際は船舶安全法の規定に従う。航空機輸送を行う場合は航空法の規定に従う。「7.取扱い及び保管上の注意」の項を参照してください。

運搬に際しては、容器の破損や漏れがないことを確かめてください。

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行ってください。

15. 適用法令

化審法

第一種 特定化学物質： 該当なし

第二種 特定化学物質： 該当なし

監視化学物質： 該当なし

優先評価化学物質： 該当なし

安衛法

危険性物質 引火性： 該当なし

危険性物質 引火性ガス： 該当なし

危険性物質 酸化性： 該当なし

危険性物質 爆発性： 該当なし

危険性物質 発火性： 該当なし

有害性物質 発がん性： 該当なし

特化則 第一類： 該当なし

特化則 第二類： 該当なし

特化則 第三類： 該当なし

有機則 第一類： 該当なし

有機則 第二類： 該当なし

有機則 第三類： 該当なし

表示対象物： ハイドロキノン【No.461】

通知対象物： ハイドロキノン【No.461】

その他： 該当なし

毒劇法 該当なし

作成：2024 年 7 月 29 日 改訂：
Ver.1

消防法	該当なし
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	
第一種指定化学物質	ハイドロキノン【政令番号 336 号】
船舶安全法	環境有害物質 (有害性物質: クラス 9)
航空法	環境有害物質 (有害性物質: クラス 9)
海洋汚染防止法	該当なし
高圧ガス保安法	該当なし
火薬類取締法	該当なし

16. その他の情報

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をするものではありません。

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いの際には注意してください。

特別な取扱いをする場合には、ご使用者の責任において安全対策を実施の上、実態に応じた適切な処置を講じてください。

本 SDS に記載の GHS ラベル要素は、実際の製品には表示されない場合があります。

また、記載内容は法令の改正や新しい知見に基づき改訂されることがあります。